

那賀高等学校

実施日時	令和元年10月30日(水)
参加者	生徒280名、教職員20名、地域住民等64名 計364名
実施内容	高校生防災講座、救命救急講習、 α 米炊飯実習、起震車体験

事前の取組

本校生徒は、総合的な学習の時間において、防災学習を通じて『那賀高校防災スクール』の準備を行ってきた。防災学習第1回目は片田敏孝教授の映像を鑑賞し防災について学習した。第2回～第14回は教員および生徒各自が準備した資料を元にプレゼンテーションを作成し発表を行った。第15回、第16回は防災スクールに向けて最終の事前準備をし、10月30日『那賀高校防災スクール』を迎えた。

主なプログラム

1. α 米炊飯実習

(各クラス代表4名×7クラス
=28名 で実習
第1学年280名分を配膳)



2. 起震車体験 (高校生希望者対象)

- ・那賀消防組合の協力のもと、起震車による地震での揺れ体験を行った。

(小学生対象)



3. 開講式

- ・校長挨拶
- ・高校生代表挨拶
- ・小学生代表挨拶



4. 高校生防災講座

- ・高校生が講師となり地域の小学生を招いて防災講座を開いた。
- ・各クラス3講座実施(1講座25分)
- ・講座内容は各クラスで設定したテーマに沿った内容で、小学生が参加体験できるようなプログラム組み込んで構成した。
- ・小学生は高校生の誘導のもと、各講座を順に受講した。

<各クラスの防災テーマ>

- A組 災害時多くの人が助かるには
- B組 避難所でできること
- C組 地震に立ち向かう人間力
- D組 南海トラフ地震に備える
- E組 防災グッズ
- F組 災害のために今からできる備え
- G組 古典にみる災害



5. 救命救急講習

- ・那賀消防組合の協力のもと人形を用いた心肺蘇生法の実習、AEDの使用方法の実習を行った。

(各クラス代表12～15名×7クラス
=97名 で実習)



6. 閉講式

- ・教頭挨拶
- ・高校生代表挨拶
- ・小学生代表挨拶

参加者感想文

【α米炊飯実習】

食べてみて、普通のお米とあまり変わらなくてびっくりしました。いろいろな種類もあったので災害に巻き込まれてもおいしいご飯が食べられると思うと心強いです。貴重な体験ができたと思います。

【防災講座】

小学生を対象にした防災講座は、小学生が真剣にかつ楽しそうに講座を聞いてくれたので安心しました。防災学習を通じて自分自身も災害時にどうするか、どのような事前準備が必要かなど考える機会がたくさんあったのでとても良かったです。

【救命救急】

那賀消防の方々から救命救急講習を受けました。心肺蘇生の方法や、AEDの使い方など丁寧に教えていただき、もしもそういう事態になったとき、冷静に行動できるように、しっかり覚えてこうと思いました。

【小学生感想文】

私たちに防災について考える機会をいただきありがとうございました。防災スクールが終わってから家族で防災について話をしました。そこで高校生に教えていただいたことを伝え、私の家でも対策をとることにしました。これからは、私の周りの人にも伝えていきたいと思います。

成果と課題

- ・高校生は講師役にまわることで、小学生は高校生から教わることで、両者ともに災害に対する意識の高まりが見られた。
- ・α米炊飯実習・救命救急講習を実施することができ、高校生にとって実践的で実際の役に立つ内容だった。